

「(仮称) 第5次宇都宮市防犯対策推進計画」(素案) に関するパブリックコメントについて

1 パブリックコメントの実施状況

(1) 意見の募集期間 令和6年12月11日(水)～令和7年1月14日(火)

(2) 意見の応募者数 3名
意見数 7件

(3) 提出方法の内訳

	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	計
人数			3		3

2 意見の処理状況

区分	処理区分	件数
A	意見の趣旨等を反映し、計画に盛り込むもの	件
B	意見の趣旨等は、計画に盛り込み済みと考えるもの	1件
C	計画の参考とするもの	2件
D	計画に盛り込まないもの	件
E	その他、要望・意見等	4件
計		7件

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	C	概要版において、1ページ目の図形の矢印の色や形が統一されておらず意味が不明。基本目標の灰色の記載の意味が不明。情報量が多いため、情報のポイントを絞った方がよい。2ページ目の新規・拡充の施策は分かりやすく読みやすい。	概要版のデザインについて、いただいた御意見を参考に、読んだ方が分かりやすいよう改善いたします。
2	E	市内で外国人が増加しているように感じるため、外国人による犯罪の現状や課題を分析し、課題があるのであれば施策を計画に記載して欲しい。	防犯対策においては、犯罪を行った者の国籍を問わず、犯罪の種類ごとに現状や課題などを分析するとともに、警察と連携し、その対策等を市民に周知・啓発していくことが重要だと考えております。 今後とも、計画の基本施策「市民への防犯意識高揚対策」や「市民による実践活動促進対策」に基づき、各種犯罪の注意喚起に取り組んでまいります。

3	B	基本目標２で「地域の防犯力の向上」が挙げられているが外国人は地域のコミュニティに参加しない人間が多いと思われるため、どのように外国人を巻き込んで防犯対策を推進するのか、外国人に訴求するための工夫は何か検討し計画に反映いただきたい。	いただいた御意見のとおり、地域のコミュニティに参加しない方また参加しづらい方にも、地域における防犯活動に協力をいただくことは大変重要であると考えております。 このようなことから、次期計画においては、散歩や買い物、通勤など、日常生活の中で、個人単位で気軽にできる「ながら見守り」を推進していきたいと考えており、今後、市民の皆様に広く啓発するとともに、様々な媒体を通じて外国人の方にも協力を呼びかけてまいります。
4	C	計画に防犯カメラの記載が複数あるが、ＡＩといった最新技術を取り入れた防犯カメラを導入することは、犯罪抑止の大きな一助となるため、どこかにその旨を記載できないか。	いただいた御意見のとおり、ＡＩを含め、様々な最新技術を取り入れ、防犯に役立てていくことは重要であると考えております。 今後、防犯カメラの設置・更新を含め各種防犯対策を進める中においては、随時、効果や実効性などを見極めながら最新技術の活用について検討していきたいと思っております。
5	E	随所にパトロールをする旨が記載されているが、これはリアル空間のみのパトロールを指しているのか。サイバーパトロールは実施しないのか。 個別施策としてＳＮＳ犯罪対策の強化も挙げられているところ、サイバーパトロールは必須の認識のため、記載を検討いただきたい。	インターネット上の違法情報等を発見する「サイバーパトロール」は市民の安心のためにも重要なことであり、警察において違法行為の監視や捜査のために実施されているものであります。 本市では、市民がＳＮＳ犯罪など、インターネット上の犯罪に巻き込まれないよう、警察と連携しながら周知・啓発に努めてまいります。

6	E	今、オリオン通りでは、タバコの吸い殻やゴミのポイ捨てが多く、「路上喫煙等による被害の防止に関する条例」や「みんなでゴミのないきれいなまちをつくる条例」がないがしろにされ、条例違反の取り締まりもなく、無法地帯となっているのが現状である。 地域の一部の店舗関係者や有志ボランティアによる毎朝の清掃のおかげで、多くの人を通る昼間はある程度きれいな状態になっているが、1日で吸い殻やゴミだらけの無法状態に戻っている。 その背景として、上記条例を無視するモラルが低い人々が集まってきていることがあるようである。 「条例違反は犯罪である」「市として看過容認しない」という市の姿勢を明確にして啓発や取締りを強化し、またモラルが低い人々が集まらない商店街に雰囲気を変えていくことが必要なのではないか。 このようなオリオン通りの治安問題について、市としてしっかり向き合い、オリオン通り治安維持対策会議においてしっかりと検討し、実効性がある対策を確実に推進してほしいと思う。	タバコの吸い殻やゴミのポイ捨てについては、市として、JR宇都宮駅周辺やオリオン通りなどの中心市街地を「路上喫煙等禁止区域」として定め、路上喫煙及びポイ捨て防止指導員が毎日、巡回・指導し、違反者に対しては過料徴収をするとともに「路上喫煙等禁止区域」の歩道上の路面表示や看板を設置するなど周知・啓発を行ってきたところであります。 令和6年度においてはオリオン通りの環境美化に向けた対応として、既存の標示よりもサイズを拡大した路面標示の設置や、20時から22時まで指導員による夜間巡回を試行的に実施するほか、商店街と連携した啓発用ポスターの掲示など、対策を強化しているところであります。 今後とも、まちの状況を見極めながら対策を行っていくとともに、関係機関と連携し、治安の改善に努めてまいります。
---	---	--	--

7	E	約1年ほど週末を中心にオリオン通り周辺のゴミ拾いをボランティアで行っているが、宮まつりや年末年始などは特にゴミが多い気がする。 周辺のコインパーキングにはペット用品や座布団など明らかに不法投棄となるものまでおかれていることもある 空き缶・ペットボトル用のリサイクルボックスのすぐ前に空き缶が放置されていることなどもよく見るので、現状のポイ捨て禁止看板などは無意味であり、またゴミ箱設置で全てが解決するわけではなく、ゴミ箱設置後のゴミ回収要員や回収費用など解決すべき問題は多いが、宇都宮共和大学の学園祭での展示や二荒テラスのニュース記事によると、市内のゴミ問題に関心のある学生もいるようなので、自治会などの垣根を越えて、宇都宮駅東口やオリオン通り等、繁華街などの単位で、美化委員会の設置支援や、交通事故防止の反射タスキやゴミ袋購入等の助成金制度創設など、市としても、住民や通勤通学者による美化活動への支援をいただけたらと思う。	ごみのポイ捨ての防止については、広報紙等による周知啓発、土地所有者等に対する適正管理の指導や警告看板の配布などに加え、中心市街地における商店街組合等と連携した合同パトロールや、指導員による巡回・指導などを実施するとともに、地域やボランティア団体等に対して、ごみ袋や軍手等の物品提供や集めたごみの回収など、清掃活動を円滑に行うための支援に取り組んでおります。 今後とも、支援策を広く周知し、環境美化の推進に努めてまいります。
---	---	---	---